黒田クリニックが移転

養南新聞

発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎〈0584〉57-2511
Fax〈0584〉57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

平林クリニックと統合

令和2年1月より当法人が運営する黒田クリニックが移転し、同じ岐阜市内の平林クリニックと統合することとなった。

黒田クリニックが手狭となっており移転先を探していたことと、平林クリニックが事業継承先を探していたことで両者の思惑が一致した格好だ。

駐車場は30台完備

これについて関谷理事長は「これによってデイケアやリワークなど今までの場所ではできなかったことが可能になり、よりニーズに応えられるようになる」と新クリニックに期待を寄せた。

名称は「ぎふストレスケアクリニック」

今回の移転を機に、クリニックの名称は「ぎふストレスケアクリニック（GSC）」に改称。移転後は黒田弘彦院長がそのまま新クリニックの院長に就任する。当院からも関谷院長、宮嶋医師がこれまで通り非常勤の形で診療にあたる予定。

法人関係者は「急なことでしばらくは利用者にご迷惑をおかけするが、早急に診療の体制を整えたい」と話した。

ぎふストレスケア
クリニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-41
☎058-274-9600

◆25名が永年勤続表彰

11月30日（土）、病院の創立記念日に併せ、永年勤続表彰が行われた。今年は30年表彰が1名、以下20年が3名、10年が9名、5年が12名、合計25名と過去最高の人数を記録した。

表彰者を代表し総務課施設管理グループの天野準子さん（前列左から3人目）が30年前の就職当時のエピソードを交えながら謝辞を述べた。

表彰者の皆さん

表彰者は以下の通り（10年以上）

30年　天野準子（総務）
20年　小野悦子（看護）
　　安田吉宏（看護）
　　髙月真由美（リハ）
10年　日比由利（看護）
　　菅沼裕貴（医技）
　　宮嶋佳苗（医局）
　　牛久益一（看護）
　　宮原陽一（医局）
　　安藤朋美（リハ）
　　渋谷雄太（薬局）
　　坂　卓（看護）
　　伊藤美智子（看護）

みかルんの病院ミシュランガイド「松の木の伐採」

濃尾平野が一望できる養南病院はロケーション最高のような。ただ、西病棟の一部の部屋からは、大きく成長しすぎた松で視界が遮られているといった意見があり、業務改善委員会がすぐに対応。あっ久しぶり、ケンシロ…

「川地だ！業務改善委員会に依頼されて松の伐採を遂行した」

かなり大掛かりな作業だったような？

「25tのクレーンを乗りいれて推定20mの松2本、ついでにもみじ1本を伐採した」

おかげで、この養南ビューを手に入れることができたような。

今回の期待度

星3つ★★★

「すべては俺のおかげとも言える」

…ただあのもみじ、院長の思い出の木だったみたいで「誰が切った！」って怒ってたよ。

「すべては俺の与り知らぬことである」

「伐採は俺に任せろ！」景色が見えないのでどいて下さい

◆勉強会①

11月25日（月）と12月3日（火）の両日、全職員を対象に院内感染防止委員会の勉強会が開催された。講師の吉野久美子看護部長からは、蛍光ローションを使った手洗いの実技を交えながら、インフルエンザやノロウイルスの説明がなされた。

◆家族教室

12月15日（日）、統合失調症の家族教室が開催された。「元気に自分らしく過ごす」をテーマに講演した和田祐己係長は、「調子が悪い時の対処法を事前に確認するなど、自分の取扱説明書を準備すると良い」と話した。

◆1月の家族教室

第一部：講演「うつ病の回復を助けるために」
講師：橋田　勝美　部長（臨床心理士）

第二部：グループワーク
日時：1月19日（日）14時～16時
場所：デイケアセンター
対象：気分障害患者様とご家族

みかルんの病院ミシュランガイド「松の木の伐採」

濃尾平野が一望できる養南病院はロケーション最高のような。ただ、西病棟の一部の部屋からは、大きく成長しすぎた松で視界が遮られているといった意見があり、業務改善委員会がすぐに対応。あっ久しぶり、ケンシロ…

バリピあやねの「給食大好き！」

「おしながき」

養南の献立表には給食に親しみを持ってもらいたくて手書きコメントしてるの。みんなスルーせずにちゃんと見てくれてるかなぁ～。てか、アレンジしたらもっと興味持ってくれるんじゃね？今年はレベルアップ狙ってお品書きを習字でやってみよ～っと。

書初め気分で↑↑超楽しんご☆

彩音「会心の作☆」
丸山「理外の上手さ…！」

ルンルンみかルん

ディケア

初心者でも安心

利用初期のメンバーが安心して通所できるよう支援する「若葉ゼミ」。先輩利用者との交流や余暇の過ごし方などを通してデイケアに慣れてもらうことを目的としている。

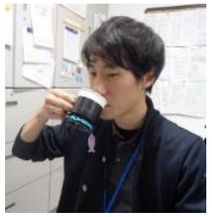
担当する門脇真司作業療法士は「最初は誰でも不安。そんな気持ちを共有し、支え合える仲間がいることで継続した通所に繋がれば」と話した。

「初心を忘れないように」と謎のポーズをきめる門脇OT

ディケア

自分専用の目印を

デイケアではなにやらプラ板アートが流行っているとか。プラスチック板に好きな絵を書き、オーブントースターで熱を加えるこ…とでオリジナルのキーホルダーが完成する。そのキーホルダーをデイケアで使用するマイコップの取っ手につけ、自分専用の目印として利用している方が増えているという。



あなたも自慢のコップを彩りませんか？

リワーク

ウォーキングで体力維持

リワークでは、職場復帰に耐えうるだけの体力向上、維持を目的に「ワークトレーニング」を実施している。この日は徒歩30分の場所にある「ハリヨ池」へのウォーキング。メンバーとの会話に気をとられスタッフが道に迷う一幕も。30分余分に歩くはめになったが、引率した飯村聡PSWは「その分体力がついたでしょう」と悪びれる様子もなく話した。

わたしの力作

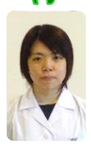
今月、インタビューに応じてくれたメンバーJ・Tさん。気軽にオシャレな小物が作れる「Minoaka工房」で作った正月飾りを紹介してくれた。作る時のこだわりは「直観的におりてくるアイデアを大事に他の人と一味違ったオリジナルのものを作ること」。作ったものを家族に見せ、会話に花を咲かせているらしい。

世界に一つだけのしめ縄です

ムダに歩かされ疲れた様子のメンバーら

雑笑門

新年初めは栄養課で勤務している近藤 純さん（29）を紹介します！



（黒板　五郎）

Q 純…どうして…ここに…入職したんだい？

A 専門サイトで見つけて…。ここを見学した時に感じが良くて決めた訳で…。

Q 純：その印象は：今も：変わらねぇかい？

A はい。覚えることは多いけど、先輩方が優しく教えてくれます。

Q 休みは何してんだ？色々とあんだろ？

A いいえ父さん。何もない訳で…。1日中音楽を聴いてます。グレイって知らないですよね？

Q 純…働きだしてイノセンスが錆びたんじゃねぇのか？それがお前のグロリアスか？

A …もう20回以上ライヴも行ってるし、他の家族もファンクラブに入ってる訳で…

Q 純…お前誘惑されたな…父さんの言葉は遠く空回ってトゲに変わったんだな…

A 父さん…とまどいます。

Q 純が慣れない街の届かぬ夢に迷いそうな時にも、暗闇を駆け抜ける勇気を父さんが与えたいんだ。

A（父さん、グレイ大好きじゃないですか！とは言えなかった訳で…。）

すき☆コレ

「綺麗でいいですよ」…献血ルームが？スタッフが？

南病棟の坂卓さん（47）は献血がすき☆20年かけてこれまでに198回の献血をしてきた。

「ジュースが飲めるし昔はもっと色々貰えたんだけど…」と遠い目をする彼は献血ルームを喫茶店感覚で利用している？

タマエの　裏外来日誌

いつも頼りになる姉御的存在の木村理絵さんは食べることが大好きなの。給食の献立は毎日覚えていて「今日はカツ丼よ」と聞いてもいないのに教えてくれるの。歩く献立表と言われているわ。あと、休憩中のおやつの食べっぷりは見事で、見てて気持ちいいくらい。

1週間分の献立表を頭にインプットする木村さん

◆楽山200万円助成

楽山・杜の会がこのたび総合商社丸紅を母体とする「丸紅基金」から作業室の改築のための助成金二百万円を受け、12月10日（火）に施設で贈呈式が行われた。式では利用者の前で、丸紅中部支社の大西英一副支社長から関谷理事長に贈呈書が手渡された。関谷理事長は「一人でも多く社会復帰できるよう有益に使わせて頂きたい」と感謝した。

贈呈書を受け取る関谷理事長と大西副支社長＝海津市南濃町津屋の楽山・杜の会で

◆湿度の管理も十分に

昨今のインフルエンザの流行を受け、当院感染防止委員会は、デイルームなど人が集まる場所の湿度をシーズン通して計測し、今後の感染予防に役立てる意向であることを発表した。提案した宮嶋佳苗病診連携部長は「冬場は湿度が低くなり粒子が拡散しやすい。数値を検証し加湿器の導入なども提案していきたい」と話した。

「私は養南のインフルエンサーですけど」